

白浜レスキューネットワーク通信 5月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

5月1日～5月31日

電話件数 210件

メール相談 1人

手紙 1通

保護件数 2件(男性1名、女性1名)

○7日、何度か電話で相談を受けてきた女性を保護。12日、女性が帰宅。

○9日、三段壁パトロール中に田辺保健所の職員が男性を保護し当NPOの共同生活に加わることになった。10日、糖尿病でインシュリンを打っているということなので、朝一ではまゆう病院へ行って診察してもらった。15日、男性所有の車を大和高田市まで取りに行った。白浜に来る前に大和高田市で警察から職務質問にあり、免許を失効していたため車を預けることになった。委任状を書いてもらい、警察に連絡し、妻と二人で取りに行った。16日、住民票を移す手続きを行う。28日、免許を復活させるために免許センターへ行く。

○中年の男性から届くメールにいつもお返事を書いている。とても短いメールだが、落胆の色が濃い。就職活動をしているが、なかなか就職できないまま数年が過ぎた。親と同居。親が生きている間に生きていく力をつけたいと言いつつ、諦めムードが漂っている。

生活自立支援活動

5月1日～5月30日

滞在者数 12人(男性10人、女性2人)

自立1人(男性1人)

帰宅1人(女性1人)

○6日、男性が自立。親の介護をするために実家へ引越し自立生活を始めた。

○8日、東牟婁振興局からの依頼で保護し、その後、はまゆう病院に入院していた男性が、いよいよ体調も回復し退院することになった。しっかり働けるようになるまでは、生活保護で近くのアパートに住むことになった。

○23日に背骨の圧迫骨折と診断された女性のために28日、救急車を呼んだ。痛み止めで様子みて、30日に紀南病院で検査することになった。30日、ブロック注射で様子を見ることになった。

○28日、年金を受給できるようになった男性と年金をおろしに銀行へ行った。介護保険料など支払いを済ませる。ヘルパーが朝晩入る生活にも慣れ、週二日のデイサービスも楽しいようだ。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

連休明けに販売数が伸びず苦戦した。無料の弁当配る活動も、今回は、ひとりの男性に毎日一つを届けただけにとどまった。

・フードバンク&フードドライブ

白浜店、新庄店、東陽店、明洋店、万呂店、田辺ショッピングセンター、御坊店から食材の提供を受けた。

田辺米穀様から第二回目の協力があつた。

白浜教会の会員を通して、それぞれの知り合い

など各家庭への支援を行った。

・少年少女漂流隊

22日、今年度最初の少年少女漂流隊。



・放課後クラブ「コペルくん」(月～金)

2～5名の小学生が来ている。

山本さんと子供たちの関係も少しずつできてきた。共同生活している20代の男性が、手伝いに入っている。

・コペルくん+(火、金)

3人が利用している。

・夜コペ(水、金、夜7:30～10:00)

白浜中学校、富田中学校、田辺高校、南部高校、田辺工業高校の生徒たちが集まっている。

・はじめ人間自然塾



秘密基地作り骨組みを組み上げた。

・相談電話

2日、9日、16日、23日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。